

セントポール市姉妹都市提携 70 周年記念公式訪問団

長崎市議会議員 相川和彦

この度、長崎市とセントポール市の姉妹都市提携 70 周年という記念すべき節目に訪問団の一員として参加させていただき、貴重な経験をすることができた。滞在期間中に、両市の深い絆と、70 年という長きにわたって培われてきた友好関係の重みを実感した。

セントポール市で参加した行事の概要は次のとおり。

8月21日（木）

○ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催の歓迎夕食会

訪問初日の歓迎夕食会では、ロータリークラブと姉妹都市委員会の皆様から温かいおもてなしを受け、胸が熱くなった。言葉や文化の違いを超えて、互いを尊重し合う姿勢に、姉妹都市交流の本質を見た思いがした。地元の方々による和太鼓の演奏も行われ、長崎市との深いつながりが文化の面でも確かに根付いていることを象徴していた。異国の地で聞く和太鼓の演奏は非常に素晴らしく感動した。



8月22日（金）

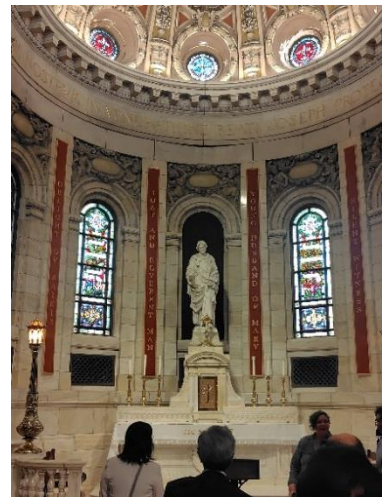
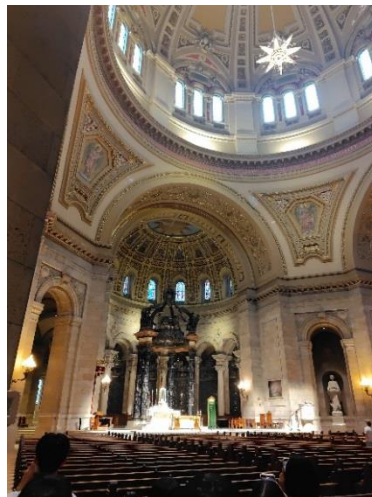
○セントポール市役所表敬訪問

セントポール市役所では、カーター市長及びノッカー議長を表敬訪問することができ、両市のさらなる交流発展などについて有意義な意見交換ができた。両市が平和、文化、教育など多方面で協力してきた歩みが、確かな信頼関係として根付いていることを実感した。また、若い世代への交流の継承と、平和活動を維持することの大切さについて改めて認識した。



○州議事堂・セントポール大聖堂

州議事堂の荘厳な建築、セントポール大聖堂の美しさは、ミネソタの歴史と文化の深さを物語っていた。特にセントポール大聖堂では、平和への祈りという点で長崎と共通する思いを感じ、改めて姉妹都市の絆の意義を考えさせられた。



○セントポール・セインツゲーム観戦

セントポール・セインツの試合観戦は、アメリカの地域に根ざしたスポーツ文化を肌で感じる機会となった。球場全体が一体となって応援する姿を見て、ベースボールを愛する市民が多いことを実感した。日本の野球観戦とはまた違った雰囲気の中で、プレーのひとつひとつに非常に迫力があり、ベースボールを楽しむことができた。



8月23日（土）

○平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」

平和イベントでの鈴木市長の講演と、子どもゆめ体験に参加した長崎市内の中学生による被爆に関する紙芝居は、特に心に残るものだった。被爆都市である長崎の平和への思いと、セントポール市の平和への取り組みが重なり合い、両市が共有する価値観の深さを再認識した。平和の実現に向けて、姉妹都市として協力できることの意義を強く感じた。



○ナショナル・スポーツ・センター視察

ナショナル・スポーツ・センターは、広大な敷地内にサッカー場、ゴルフ場、アイスホッケーのリンクが多数あり、多くのイベントや大会が開催されるなど、アメリカのスポーツ熱の高さをうかがうことができた。



○コモ公園視察及び公式夕食会

コモ公園の視察では、公園内にある日本庭園の美しさに感動した。また、公式夕食会では、70年の交流を支えてきた多くの方々との出会いがあり、市民レベルでの交流の積み重ねが、この関係を支えてきたことを実感した。



8月23日（土）

○ミネソタステートフェア

ミネソタステートフェアでは、アメリカ中西部の農業文化と地域の伝統を体験することができ、セントポール市の多様な魅力を知ることができた。フロートに乗車してから会場を見渡してみると、家族連れや若者、高齢者まで幅広い世代が思い思いにフェアを楽しんでおり、会場全体を包むエネルギーとスケールの大きさに圧倒された。広大な敷地に多彩なブースやアトラクションが立ち並び、ミネソタの一大イベントであることを肌で感じた。



70周年という節目を迎えた姉妹都市関係は、多くの先人たちの努力と情熱によって築かれてきたものである。今回の訪問を通じて、この関係をさらに深め、次世代へと継承していく責任を強く感じた。

長崎市とセントポール市、太平洋を挟んだ二つの都市が、平和と友好の架け橋として、これからも手を取り合って歩んでいくことが大切である。このような貴重な機会をいただいたことに、心から感謝申し上げる。